## うみなり

令和3年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより



令和3年10月6日(水)発行 第14号 文責 藤川 俊彦

新聞を通して「読む!」「なぜ?」のトレーニングをしよう!! ~ | 0月5日(火)の全校朝会でのお話から~

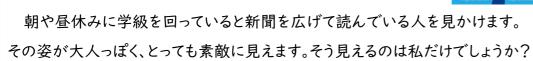
私は新聞が大好きです。もしかしたら「新聞中毒」もしくは 「新聞依存症」なのかもしれません。朝、新聞を読まなければ、 なんだかその日一日、頭や体調が優れません。



普段は地方新聞 | 紙と全国新聞 | 紙を読みますが、土日月は読む全国紙が 2~3紙になります。これは、週末や月曜日に読みたい記事やコラム・別冊がある からです。スマホやPCで読むネットニュースもあるし、電子版の新聞もある中で、 紙にこだわっているのは、真新しい新聞を開けた瞬間の良い薫り(紙・インクの匂 い?新聞社によって違いあり)や「今日はどんな記事と出会えるかな?」というワク ワク感、簡単に切り抜ける手軽さ、灯油をこぼした時のぞうきん、うっとう しいハエを含む虫たちを退治する用具(?)として重宝しているからです。

新聞にはたくさんの効能があると思いますが、中でも「読むトレーニング」 には最適だと思っています。プロの書いた記事やコラムは文章を読む訓練には もってこいであり、「いつかは、こんな文章を書きたいな~」と私自身 憧れながら読んでいます。そして、新聞を継続して読むことで、読む スピードが格段に速くなりました。以前より2倍は速く読めています。

二つ目は「なぜ?」「どうして?」と思う記事やコラムが新聞にはたくさんあるこ とです。新聞を開くことで、地域や日本、世界で起こっている様々な記事が目に飛 び込んできます。ホッコリすることから残酷非道なことまであり、「なぜこんなこと が?」「どうして・・・」と感じることがたくさんあります。私自身まだまだ分からない ことが多く、新聞で「なぜ・どうして?」と感じたことを本やネットで調べることも あります。しかし、自分で解決できないことや答えにたどり着かない ことは、まだまだたくさんあります。それでも、**「なぜ・どうして?」** 「どうすれば?」と自分自身に問い続けることはとても大事 **なこと**であり、これからも大切にしていきたいと思っています。



## 一中祭の活動が始まっています!!

~来週末(|0月|6日:土)は学校で諸活動を公開いたします!~

色々な場所から歌声が聞こえてくるこの季節が私は大好きです。 10月16日(土)に公開される一中祭に向けて、子ども達の活動 が本格化しています。体育ではダンス発表に向けての練習も大詰めを 迎えています。合唱は各クラスのリーダーや指揮者・伴奏者、そしてみ んなが頑張っている姿が見られます。委員会も3年生の委員長を 中心に、当日に向けての真剣な話し合いが行われています。

「文化祭で大事になってくるのが学級の力」です。 クラスのリーダーはみんな (メンバー) のことを考える 「リーダーシップ」を。みんな (メンバー) はリーダーのことを考える 「フォロワーシップ」を。リーダーもメンバーもお互いに補完し合うこと で素晴らしいベストなチームになります。残り 10 日間 Nice なクラス (チーム) に向けて Let's go!



## 学校HPリニューアルしました!!

~本日(10月6日:水)ID及びパスワードをマ・メールで送信いたしました~

10月6日(水)に学校HP(以下HP)を リニューアルし、同日保護者の皆様にIDと パスワードをマ・メールでお知らせいたしました。



HP内にある保護者限定コーナー「学校だより(保護者用)」と「子どもの 様子(保護者用)」は、IDとパスワードを入れて頂ければ閲覧することができ ます。また、学校だより(保護者用)内にある動画も再アップいたしました

(諸般の事情によりアップできなかった動画もあります) 以前、お見逃しした方はどうぞご覧ください。

なお、個人情報保護の観点から、ID とパスワードの 管理の徹底をご家庭にてよろしくお願いいたします。

HPにおいて、何かしら問題があった場合は、

校長PC直通アドレス QRコード

速やかに学校( または校長 PC 直通アドレス

ed.jp 上記QRコードからも送信できます。)

までご連絡をお願いいたします。

なお、新しい HP は以前同様「六ヶ所第一中」 で検索頂ければご覧いただけます。また、 右記QRコードからもご覧いただけます。

HPが原因で、個人情報保護や生徒指導上の面等で

問題が発生した場合は、予告なく以前の状態に戻し たり、閉鎖する場合もありますので、ご承知おきください。



HPOQRコード



## 不



「断捨離(だんしゃり)」といって、不要な物を「断(た)ち」「捨(す) て」、物への執着から「離れる」ことにより、「捨てるのは もったいない」という考えや心を開放し、身軽で快適な 生活と人生を手に入れようとする考え方があるそうです。

明治生まれの祖母及び昭和一桁「もったいない世代」の両親に育 てられた私にとって、食べ物を残したり、使える物を捨てる罪悪感は

いかんともしがたく、苦しくてもついつい完食したり、 使いもしない物を大切にしまっておくのです。お陰様 (?) で 50 歳を過ぎた今でも立派な体格を維持し、 引っ越しのたびに物の多さに呆れかえる始末です。



久しぶりに修学旅行の引率となり、その時使おうと以前使っていた セカンドバックを探していましたが中々見つけられません。妻にバックの 事を聞きましたが、「なければ引っ越しの時に捨てたかも」との事。 東京に行った際、東急ハンズ銀座店で買った大切な一点 4/ ものが・・・無念。しかし、数日後「自分が捨てられないで いる物を断捨離してくれたことに感謝しなければ・・・」と

思うようになりました。時と場、物にもよりますが、断捨離するときには、 自分以外の人に処分してもらった方が効果的なのかもしれません。

『断捨離は 夫の物を 捨てること』一週間後、ある 新聞社の世相川柳にそっと投稿する自分がいました。

